



9. 三重県のそれぞれの項目に対する印象について1つ選択してください。

	非常によい	よい	普通	悪い	非常に悪い
交通面（県内・県外へのアクセス面）	0	0	0	0	0
住環境（気候や店舗、公共施設など立地に伴う暮らしやすさ）	0	0	0	0	0
人間関係（三重県内で今まで築いてきた人間関係）	0	0	0	0	0
食文化（三重県内特有の食材、名物料理など）	0	0	0	0	0
伝統文化（三重県の歴史、文化（祭りや伝統工芸品など））	0	0	0	0	0
都会的な施設やイベントなどの充実度	0	0	0	0	0
ホビー・レジャー（趣味や遊びに取り組む環境）	0	0	0	0	0

【就職に関する質問事項】

10. 現在の卒業後の進路希望を教えてください。【あてはまるものを1つ選択】

- 就職 起業 進学（大学院や専門学校） その他

11. 就職の選択肢として検討しているものを教えてください。【あてはまるものをすべて選択】

- 公務員 大企業 中小企業 小規模企業 団体職員
 家業 ベンチャー企業 NPO/NGO 教育機関 医療機関 その他

大企業…小売・サービス業の場合は資本金5,000万円以上、製造・建設・運輸業などは3億円以上
 中小企業…大企業より、規模の小さなもの
 小規模企業…サービス・小売業従業員5名以下、製造・建設・運輸業20名以下のもの
 ベンチャー企業…独自の技術・製品・サービス等により大手企業では難しい革新的な事業を展開している

12. 将来就職する際、どちらの地域で就職を希望しますか。【あてはまるものをすべて選択】

- 三重県北勢地域 三重県中勢地域 三重県伊勢志摩地域 三重県伊賀地域
 三重県東紀州地域 愛知県 岐阜県 静岡県 滋賀県 京都府
 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 北海道 東北
 関東 北信越 中国、四国 九州、沖縄 海外

13. 関心のある職種を教えてください。【あてはまるものを3つまで選択】

- 総務・経理・人事などの管理部門 営業企画・営業部門 商品企画・設計部門
 広報・宣伝部門 海外営業などの海外事業部門 研究・開発部門 調査・企画部門
 製造技術・生産管理部門 情報システム部門 技術サービス部門 教育部門
 医療部門 その他

14. 関心のある業種を教えてください。【あてはまるものを5つまで選択】

- 農業、林業、水産業 建設業 メーカー 商社 運輸 海運 IT、通信
 飲食 金融、保険、不動産 観光 医療、看護 介護、福祉 広告、メディア
 教育 その他サービス 官公庁（公務員） その他

15. 就職において重要視する項目は何ですか。最も重視するものから順番に5つを選択してください。

【下記からアルファベット5つまで選択して記入】

- A 企業の将来性 B 企業の知名度 C やりがい D 給料 E 業種/職種
 F 待遇及び福利厚生 G 勤務地 H 社風 I 働きやすさ J 離職率
 K 産休・育児休暇制度 L キャリアパス M 社長の魅力

1 番目 2 番目 3 番目 4 番目 5 番目



16. 就職先を選ぶ際に、誰の意見を参考にしますか。【あてはまるものを3つまで選択】

- 父親 母親 兄弟 祖父母 教職員 友人
 先輩 恋人 企業の人 ネットの意見 その他

17. 就職活動を始めの際、どこを参考にしたいと思いますか。【あてはまるものを5つまで選択】

- リクナビ、マイナビ等大手就職情報サイト 学校の就職支援部署
 ハローワーク（公共職業安定所） 教員からの紹介 OB、OGからの紹介
 近親者からの紹介 友人からの紹介 企業展 合同企業説明会
 お仕事広場みえ 新聞 四季報 フリーペーパー等就職情報誌
 アルバイト先 インターンシップ その他

18. 就職観について教えてください。【あなたの考えにもっとも近いものを1つ選択】

- 収入さえあれば良い 楽しく働きたい 自分の夢のために働きたい
 個人の生活と仕事を両立させたい プライドのもてる仕事をしたい 社会に貢献したい
 出世したい

19. 就職（就職活動含む）に対する不安度合いを教えてください。【あなたの考えにもっとも近いものを1つ選択】

- 全く不安はない あまり不安はない わからない 不安がある 大変不安

20. 経済産業省が定める「社会人基礎力」*のうち今のあなたはどれにあてはまるかを5段階で選択してください。

1が一番評価が高く、5が一番評価が低いものとします。採点は、自己評価でかまいません。

1（高評価） ← →（低評価） 5

	1	2	3	4	5
主体力 指示を待つのではなく自らやるべきことをみつけて積極的に取り組む力	0	0	0	0	0
働きかけ力 他人に「やろうじゃないか」と働きかけ目的に向かって周囲の人を動かしていく	0	0	0	0	0
実行力 言われたことをやるだけでなく自ら目標設定し失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組める力	0	0	0	0	0
課題発見力 目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案できる	0	0	0	0	0
計画力 課題の解決に向けて複数のプロセスを明確にし「その中で最善のものは何か」を検討しそれに向けた準備をする	0	0	0	0	0
想像力 既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える力	0	0	0	0	0
発信力 自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える力	0	0	0	0	0
傾聴力 相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す力	0	0	0	0	0
柔軟性 自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する	0	0	0	0	0
状況把握力 チームで仕事をするとき、自分がどのような役割をはたすべきかを理解する	0	0	0	0	0
規律性 状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する	0	0	0	0	0
ストレスコントロール力 ストレスを感じるがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対処する	0	0	0	0	0

*注釈：「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年から提唱しています。企業や若者を取り巻く環境変化により、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが今まで以上に重要となってきています。

